



2023年5月16日

各位

会社名 ビズメイツ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 伸明  
(コード番号：9345、東証グロース市場)  
問合せ先 取締役  
コーポレートデザイン本部長 木村 健  
(TEL. 03-3526-2640)

## 2023年12月期 第1四半期決算 質疑応答集

平素より当社にご関心をいただき誠にありがとうございます。

この質疑応答集は、2023年5月15日(月)の2023年12月期 第1四半期決算発表以降に、株主・投資家の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものであります。なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております点、ご容赦いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

### **Q1. 当第1四半期(2023年1月1日~2023年3月31日)の営業利益が前年同期比で減益となった理由を説明してほしい。**

当第1四半期の売上高は743,295千円(前年同期比12.4%増)となりましたが、営業利益は66,986千円(前年同期比23.3%減)となりました。

こちらは、売上総利益は556,215千円(前年同期比12.2%増)と前期より増益となりましたが、販売費及び一般管理費が489,228千円(前年同期比19.8%増)となり、売上高や売上総利益の増加率を上回る水準で推移したことが理由となります。

販売費及び一般管理費が前年同期比で増加した主な理由は、当期新たに実施した認知拡大のための広告動画の作成費用や、当社サービスの品質向上等を実現するためのシステム開発関連の業務委託費が増加したことによるものであります。

なお、当該増加要因については、既に公表させていただいている業績予想に織り込み済みであり、通期の業績予想に影響を与えるものではございません。

### **Q2. 当第1四半期(2023年1月1日~2023年3月31日)の営業利益が当初計画していた予算進捗以上となった理由を説明してほしい。**

2023年5月15日に公表させていただきました「2023年12月期 第1四半期 決算説明資料」の12ページに記載の通り、当第1四半期において、売上高の進捗率は当初計画していた22.9%から22.1%へと0.8%減少しておりますが、営業利益の進捗率は当初計画13.5%から18.0%へと4.5%増加する結果となりました。

こちらについての主な要因は、売上原価においてオンライン英会話レッスンに係るトレーナーへの業務委託報酬が当初計画より減少したことによるものであります。その理由としては、オンライン英会話レッスンの受講頻度が当初計画を下回ったことにより、レッスンの提供回数

及びトレーナーへの業務委託報酬が減少したためであります。

結果、売上総利益率が計画値以上に増加したことから、営業利益についても当初計画の進捗率を上回る水準で推移することとなりました。

**Q3. 当期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期営業利益の計画が下期偏重となる理由を説明してほしい。**

2023年5月15日に公表させていただきました「2023年12月期 第1四半期 決算説明資料」の12ページに記載の通り、当初計画した営業利益の進捗率は第1四半期13.5%、第2四半期13.5%、第3四半期34.0%、第4四半期38.9%と計画しており、過年度実績のトレンドと同様に下半期に向けて営業利益が積み上がっていく計画となっております。

そのような傾向となる理由としては、当社の主力事業であるランゲージソリューション事業において、個人顧客向けについては、例年上半期にWebマーケティングやメディア出稿等、広告宣伝費を積極的に投下し通期で有料会員数の積み上げを狙うことに加え、法人顧客向けについては、例年クライアント企業の語学研修ニーズが下半期に増加する傾向であることから売上高が増加していき、結果、営業利益が下半期に偏るためであります。

以上

**【免責事項】**

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。

また、本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものとなっております。